

ケアサポート幸陽

令和7年度(2025年度)事業計画

1. 運営方針

- (1) 心身の変化に合わせた対応ができる人材の育成（介護や障害の重度化に対応）
- (2) 共生社会の実現に向けた関係機関・地域理解の促進（医療や地域とのパイプ役）
- (3) 虐待の早期発見と擁護による安心した生活の継続（人権の尊重）

2. 職員等配置計画

・正規職員 5 名 ・登録型ヘルパー25 名 ・非常勤職員 3 名 合計 33 名

3. 利用者受入

障害福祉サービス、介護保険サービス合計で月平均 120 名以内

4. 今年度の重点目標

第5次経営改革プラン項目 I 面的支援体制整備の推進				
1	自立生活の継続支援	内 容	(1) 法人グループホームから区内単 独生活に移行した利用者に対する、自 立生活援助事業における支援を継 続。	通年
第5次経営改革プラン項目 II 地域に根ざした公益的取り組みの推進				
2	移動支援従業者養成研修事 業の継続と他団体との連携		(1) 他団体で開催する移動支援従業者 養成研修への講師派遣に協力する。 (2) 法人職員の中から講師役を育成し 事業継続に繋げる。 (3) 法人職員の育成の場として活用。 (4) 地域交流と障害理解の促進を目的 とした学習会の企画、開催。	開催時
第5次経営改革プラン項目 III 分野横断的な連携による複合的課題に対する包 括的支援の推進				
3	(居宅介護) 知的障害者の高齢化 家族の高齢化に応じたサー ビス提供	内 容	(1) 知的障害者の高齢化に伴う認知症 の悪化を防ぐ工夫の実践。 (2) 高齢の親と障害の子といった1家 族単位へのサービス提供や見守り 支援の提供。 (3) 日本語を得意としないご家庭への 配慮、医療従事者等への障害理解の 促進。	通年

	(介護保険) 生活能力、身体能力の維持と 向上		(4) 残存能力を奪わない介護の実践。 (5) 急な体調不良等における迅速な対 応で安心できる生活の継続。	通年
	(移動支援) 安心できる外出の提供と社 会参加の促進		(6) 家族の介護負担軽減を目的とした 移動支援の提供。 (7) 希望する単独外出のため、練習を兼 ねた外出支援の提供。	通年

5. 福祉人材の確保・育成・定着

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準等を活用してキャ リアパスに応じた OJT の実施 (2) 職場内研修や委員会の開催 ① 障害特性・支援技術等 ② 虐待防止・権利擁護・身体拘束適正化 関連 ③ 危機管理・防災等 ④ 感染症対策・保健衛生等 ⑤ 登録型ヘルパーの定期学習会
2	外部研修	(1) 職層・職員個別ニーズに合わせた受講計画と実施 (2) オンライン研修の有効活用
3	自己研鑽支援	(1) 資格取得支援制度の周知・利用促進 (2) 研修情報の提供、情報誌等の購読・回覧 (3) 認知症ケア専門士の受験に関する情報回覧 (4) サポーターズカレッジ等 Web コンテンツの活用